中核事業

**資源・エネルギー・環境事業、社会基盤、
産業システム・汎用機械の3つの事業分野は
IHIグループの中核を担う事業と位置付けています。
LCB（ライフサイクルビジネス）の深化と進化、
構造改革を通じて、成長、育成事業へ投資する
経営資源（キャッシュ・人財）を創出する
役割を担います。**

創出する価値

資源・エネルギー・環境事業、社会基盤、産業システム・汎用機械分野は、お客さまの保有する各種装置や機械のライフサイクルを通じた価値（例：故障予知や長寿命化）を創造します。さらにお客さまのライフサイクルにより深く入り込み、そこから得られた知見をフィードバックすることで、さらに進化した製品、サービスをお客さまに提供していきます。中核事業は2023年度連結売上高の約79%、特別要因を除く営業利益の約58%を占めています。

「グループ経営方針2023」における役割

中核事業の果たすべき役割は、経営目標達成のための利益を上げ、キャッシュを稼ぐことだけでなく、成長事業および育成事業に対して投下するキャッシュや人財などの経営資源を創出することです。

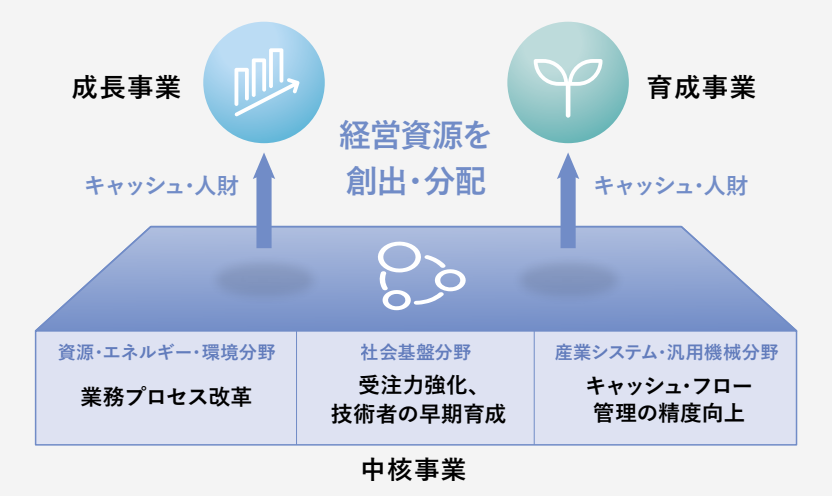
実現に向けた戦略

中核事業が営業キャッシュ・フローを最大化するために、各分野において運転資本の削減、業務プロセスの改革やデジタル基盤の活用による業務効率化を進めています。

資源・エネルギー・環境分野では、既存のビジネスを含めライフサイクルビジネスへ転換すべく、業務プロセスへの改革に着手しています。社会基盤分野では、受注力強化を図りつつ、技術者の早期育成などを進めています。産業システム・汎用機械分野は、キャッシュ・フロー管理の精度向上などに取り組んでいます。

各分野において引き続きライフサイクルビジネスの拡大に注力するとともに、継続的な成長を目指します。

中核事業を中心とした資本の流れ



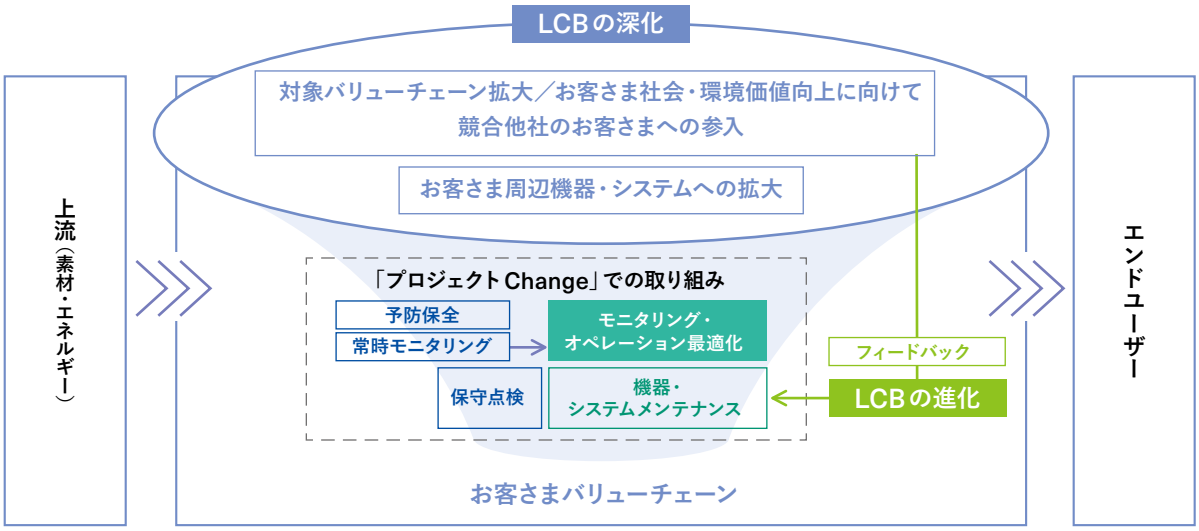
LCB（ライフサイクルビジネス）の創出価値

従来の製品・サービスを中心としたビジネスモデルからライフサイクルでの価値提供（LCB）への転換を図ることで、持続的な高成長の実現と破壊的環境変化へ対応可能な企業体質への変革を加速させます。

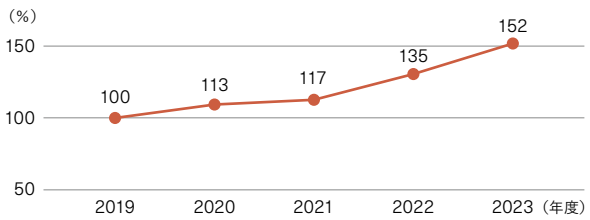
LCBの成長戦略

資源・エネルギー・環境分野では、LCBを中心に据えたDXを活用した業務プロセスの変革や組織改革、他社納入のボイラや原子力案件などにおいてLCBの取込みを含む事業範囲の拡大を進めています。社会基盤分野では、各種DXツールを活用したインフラマネジメント事業への展開を目指しています。当社グループ独自のBMSS（ブリッジマネジメントサポートシステム）を活用した橋梁の維持管理業務、長寿命化提案などのコンサルティングビジネス、水門点検サポートシステム（GBRAIN）やスマホを活用した水門点検業務の効率化などに取り組んでいきます。産業システム・汎用機械分野は、多くの製品を抱えており、多様な人財・技術・お客さまネットワークを保有しています。この強みを生かし、お客さまや市場の目線に立つことで、製品やSBUの枠を超えた、従来の常識にとらわれない新たな価値創造に取り組むことでLCBを拡大していきます。

LCBの深化と進化を軸とした成長戦略



LCBの業績推移

LCBは前中期経営計画「プロジェクトChange」が始まった2019年度から注力を開始しています。各事業でLCBを意識した事業展開と仕組みづくりを強化しており、着実に成果が実を結んでいます。2023年度におけるLCB売上高は、2019年度比＋52%へ拡大しました。

LCB指数化売上収益推移